

革命政権の韓国を訪れて

馬 場 太 郎

今度韓国に短時日ではあったが、スポーツ親善使節として、派遣されたので、最近の韓国のスポーツ、体育の動向、対日感情、政治経済面を狭い視野からながめてきたことを拙い文章でとりとめもなく書いて見た。

韓国では文教部（文部省）の要人、各大学の総長、学長をはじめ多くの知友を得たし、体協の幹部、各報道関係の各位には特別の配慮に与かった事は深く感謝すると共に朝日の真崎氏、共同の藤井氏、毎日の松本氏等の特派員の諸君にも色々御協力頂いた事を感謝したい。【筆者】

大韓民国ハンドボール協会は、日本最強の大学チームの招請を、我が日本ハンドボール協会に九月下旬申し込んで来た。相成るべくは、歴史の最も古く、韓国に多くの卒業生をもつ、日本体育大学の来韓を希望するとの内容であったので、検討の結果、いよいよ具体化し日本体育大学選手十六名、役員四名のデレグレーションの決定を見たのは、九月下旬であった。

一行の顔ぶれは、学校側から日体大学長栗本義彦氏が団長に、協会側から副会長の筆者が副団長に、国際審判員として関東学院の若崎重富氏、トレーナーとして日体ハンドボール部長荒川清美氏と前述の学生十六名であった。

出発迄は外務省へ旅券の申請や、体協医事部での注射、韓国代表部へビザの査証、文部省への挨拶や

一方、韓国体育状況、政治、経済面の一応の予備知識の獲得、韓国報道機関との連絡等全く多忙な三週間であった。特にこの間秋田の国体、本学の前期試験の採点等々で、東京、大阪間の往復も五回を数へ、渡韓前に既にグロッキーの状態であった。かたゝ加えて韓国のサッカー、バスケットボールの強豪さが、頭の中に去来し、如何にして彼等と対戦し、日本代表として恥かしくないゲームを展開し、又日韓親善の役目を果せるかと、欲ばったものだったが幸い日体大の合宿強化も一人の事故者もなく、最良のコンディションで十九日午前九時三〇分ノースウエスト機で羽田発迄漕ぎつけた。到着後ソウルと大邱市で合計六試合、全勝、三〇日午後一〇時一五分金浦をジェット機で発、全一一時五五分羽田着無事帰国した。

無名戦士の霊を弔う

最初招待状をうけとった際は、韓国は軍政であり、日韓両国民は長い間敵意をいだき続けてきただけに内心多少の不安であったが、一步、金浦飛行場について見ると招請団体である、大韓ハンドボール協会はじめソウル市内の各大学のハンドボール部員や、梨花女子大学（これは日本の女子学習院と日本女子大をミックスしたような韓国の名門の子女が挙つて入学する女子の名門校とのこと）の学生諸君や一般の歓迎ぶりは想像も及ばぬ大したものであった。吾々は予定通り先づバスをつらねて、一九五〇年六月二五日共産軍南下の際の犠牲になった一四万人の墓地に無名戦士の霊を弔ったが、このことが翌日新聞にでかかと掲載され、この車が一般韓国民衆の大変な好感を博したそうだ。又大邱では、儀礼上、慶尚北道のガバナーを訪問したが、日本陸士五六期卒業の朴敬准将で大変な好遇をうけた。翌日の試合には政務の寸暇をさいて夫妻同道激励に来場するなど、仲々のスポーツ愛好家で、吾々一行の慶州の観光に際しても軍のバスを二日間提供して呉れる周到さでその好意に厚く感謝の意を表したい。

試合場でもホテルでも、熱心なファンがサインを求めに押しかけてきたし、日系の婦人がなつかしい日本から皆様が来韓された事を、新聞で見たので応援に来たと、涙を流してよろこんでくれたのは最も印象であった。羽田からプロペラで三時間半、ジェットで僅か一時間半の半島、「空の旅」ともいえないほどの近い韓国、文字通り一衣帯水の近い間柄、歴史的にも古くからのつながりがあった、この両国がいつ迄遠い関係であるのか、日本人の血と韓国人の血は相通ずものがある近い親類と云つても過言で

はなからう。

国交回復を希望するムードは両国の選手の交歓を見ても察知される。李承晩は、専横だという時代はすぎた。張勉内閣も既になく、今は再建を荷う朴將軍の指導下にある。この際一挙に両国の青年特にスポーツ人を通じて、相互理解を深めるべきだろう。

日本は新生韓国の真実の姿を正しく認識すべきであり、韓国も亦敗戦で新しく生まれ変わった真の日本の姿を十分な理解と認識をもつべきであろう。最近相つぐ両国間のスポーツ交流が何等かの形で強い楔となつて欲しいものだ、言外にインテリ層は語っていたし、筆者もその感を深くした。学生の対日感情は例外なしと言いたい位、親日的であつて強く日韓交流を望んでいた。旅館も一流どころに宿泊さしてくれ、食事朝は日本食に韓国食を加味した献立、昼は洋食、夜は招待で大邸ではふぐ料理、ソウルではスキ焼に似た、やき肉と全くそつのない歓待振りであつたし、観光地慶州の仏国寺では当地ナンバーワンの鉄道ホテルに宿泊し、室内は新大阪ホテルのファストクラス程度の部屋へ通されて学生はとまどいするという一駒もあつた。

試合は我々が懸念した程のこともなく、六試合全勝、観衆も六試合で八七、〇〇〇人、一試合平均一四、五〇〇人、日本で行う試合以上の観衆を動員出来たことは、軍政権がスポーツに力を入れている結果とは云いながら、勝敗にこだわらず日本代表の妙技を拍手をもつて声援を惜しまぬ態度は凡そ想像も及ばぬ事であつた。それは想像を全く裏切つた日本チームの強さに敬意を表する現れであつたとも思われた。

吾々が離韓に際し、先進国チームと早く対等のゲームをするため例え一日でも指導をして欲しいと懇

望されたが、事情はこれを許さず他日を約して帰国した。帰国数日後次の如く後援新聞社から礼状と共に届いたが一読の価値があるので転載したい。

△ソウル日々新聞 三月三十一日付け▽

『韓、日親善ハンドボール競技のため、來韓した日本体育大学チームに、競技者は勿論ファン達にも、開眼の機会を与えてくれた。此の度の日本体育大学チームの來韓に先き立って、韓国ハンドボール界は、国際競技の処女対戦であり、この対抗競技で、韓国ハンドボールの水準を窺うことが出来るだろうと予想したものだつたが、その結果はあまりにも悲惨なものであつた。

日本体育大学チームの息づまるような、速攻とシュートが継続し、正確な得点が展開するのを見た時、韓国側には、失望と共に、大きく肯ずかれる点が少なくなつた。彼等のプレイはにおいてダンスのすさまじさと、無理のないモーション、そうして秀れた走力などは、まず先きに基本的な出発から差異を示し、特にシュート、モーションの多型的な変化は多くの参考を見せた。ジャンプしてゴールに向かつてシュートする方法しか知らなかつた韓国側の単純な方法に比べ、日本体育大の

- ① 走りながらの儘のシュート
- ② ゴールライン前に打ちつけて射るシュート
- ③ 野球投手のような、アンダースローシュート
- ④ ダイビング、シュート
- ⑤ キーパーのモーションをくずして後シュートする緩球
- ⑥ ゴロ球のシュート
- ⑦ そうして攻撃陣の全員が等しく左右のシュートする点等

初めて観たものであつた。

日本体育大のチームは、六ゲームを通じてギブ・アンド・ゴウのパスは速い動作をもつて、各韓国側大学チーム守備陣を誘引、かつ攪乱しては自由自在に、シュート、チャンスを作り、確実なシュートで得点一二八、失点四五という記録を残したのである。

ランニング、ジャンピング、シューティングに到るまで基本的訓練を積んで來た、日本体育大チームの競技は、フォーメーションもなく密集を通じてでも、無理なシュートを試みようとする。韓国大学チームに、今迄になかつた開眼の機会を与へてくれた事を感謝する。

日体大チームの団長栗本義彦氏（同大学学長）副団長馬場太郎氏（大阪桃山学院大学教授、日本ハンドボール協会副会長）は韓国側のチームに対し次のような点を指摘した。

- ① 個々のプレイヤーが余り多く、それがためシステムを備えることが出来ない。
- ② ドリブルが余り多いため、速攻の機会を失し、そうして相手側にディフェンスの余裕を与へるのである。
- ③ プレーが単純で総合力がない。

然し両氏は韓国の選手達は、優れた体力をもつておるため、科学的の練習をつめば遠からず、国際水準に到達するだろうと、つけくわえ、來年度は韓国の大学チームを日本に招待し、親善試合をしたいと言われた。数次の国際競技と外国遠征で、経験と、実力を錬磨したのみか、日本ハンドボール界は、現在全国的に盛況で、高校チームの数だけでも、約七〇〇に達すると謂うには羨望の念に堪えない。そうして、日本のハンドボールの歴史が、ほぼ韓国の歴史と同じと云う事を考え

ば、我等は今度の、韓日親善ハンドボール競技大会の惨敗相を契機に一層奮発しなければならぬ。

今度の試合においてハンドボールとはこのよう
な、スピードがありスリルを感じるゲームであり
バスケットボール以上に興味をもてる事を、日
大チームの来韓によって、広く覚えた今日、大韓
ハンドボール協会は一層積極的で、科学的な研究
を積み普及に乗りださなくてはならないだろう。」
(申徳相)

韓国体育会の組織と

韓国ハンドボールの歴史

韓国の体育協会は、大韓体育会を称し、ソウル特
別市、京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、
全羅南道、慶尚北道、慶尚南道、江京道及び済州道
の一特別市九道により組織され、二八種目団体が加
盟している。

本年一〇月一日より一五日迄の五日間ソウル特
別市で開催された、全国体育大会には(日本の国体
とおなじ)前記の九道一特別市の外、在日韓国人も
参加し盛大に挙行された由で、檀紀四二九四年、第
四二回全国体育大会を呼称され若きアスリートの登
龍門でもある。

韓国ハンドボール協会は韓国体育会の加盟団体で
あり、その組織も日本の体協のそれと同じで、九道
一特別市により組織され一〇の支部をもっている。

歴史 韓国のハンドボールは一九三六年日本

に留学していた李丙学氏(日体大出)が帰国後日本
で学んだハンドボールを普成専門学校(現高麗大学)
の体育の時間に簡易ハンドボールを行ったのが最初
である。一九四〇年朝鮮ハンドボール協会が設立さ

れ、本格的に大会が開催されたのは翌一九四一年第
一七回体育大会(旧朝鮮神宮体育大会)に正式種目
として認められ、一般男子、中学校男女の大会が開
かれたのが最初の大会で、その後盛んになり、国技
として取りあげる勢いも見えていたが、一九五〇年
六月二五日の共産軍の侵入により、指導者が分散
し、協会の機能は麻痺状態に陥つたが一九五二年に
再び現協会が設立され、一九六〇年九月国際ハンド
ボール連盟総会が、白耳義のリヘデで開催されたと
き、現会長韓炳詰氏と文顛桂氏(共に日体大卒)が
参席して正式に加盟が認められ、現在の加盟団体は
男子一般、大学、中学、女子大学、高校、中等台
計三九四チーム、八〇〇〇名の登録人員をもってい
る。

協会の組織は大体日本と同であるが、現在は軍政
下にあるため会長、副会長その他幹部役員、支部選
出の委員に至るまで、軍の認可がなければ就任する
ことが出来ない。

各種大会はそれ／＼のクラスで頻繁に行われてい
るが、七人制ハンドボール大会は本年一二月に行わ
れることになっている。さて彼等の技術であるが、
日本の終戦直後当時の実力で、日本がドイツを迎え
る前のハンドボールと思えばたいした間違いあるま
い。ソウル日日新聞社の記者の反省が端的に言い
表わしている。体格、体力共に優秀な彼等が今後科
学的なトレーニングによって訓練されることと、審
判技術の向上が軌道にのれば、我が国の好敵手とな
る事は余り時日を要さないとと思われる。

電力と植林計画その他

韓国は従来、農産、水産が主な生産の主力であり、
重工業は北鮮であるが、その北鮮が三八度線でシヤ

ットアウトされ、鴨緑江の東洋一のダムも北鮮のも
ので韓国は電力不足、山は禿山、渇水期でない一〇
月でさえ、地方ではローソクの明り、ソウルの町は
づれもこの例にもれず、電力節減、ネオンサインは
思いの外である。燃料はオンドルにも煉炭を使用し、
一方植林計画を実施し将来に備えている。

地方を旅行して先づ驚いたことは河川の整備に全
々手をつけていない事である。川幅は広く流れるに
まかせと言えは余りにも大きさが、国費の七〇%
以上が軍備残りの三〇%では何も出来ないのは当然
だろう。

国内至るところに「国家再建、経済向上」、「国
民体位向上、民族興隆之基、体力国防力直結」の標
語を公示し、年間六〇億円のアメリカ煙草を全面的
に発売禁止し国産の煙草の包装紙には「共産主義の
間接侵入を防げ」と革命政府の再建の意欲はすさま
じい。

われわれが渡韓した一〇月「新生活の月」と革
命政府から宣言され、先づ二〇万の全国公務員は、
「厳格で尊敬に値する人」のモデルになるような生
活を命令され、一般市民も、集会は必ず集會届を
その筋に提出、夜も一時三〇分に第一のサイレン、
一二時に第二のサイレン以後の通行は一切まかりな
らぬとのきついお達しであった。又消費節約もきび
しく前述のアメリカ煙草の贅沢品で禁止の外全国一
万二千近い料理店に木製の箸を禁じ、プラスチック
の箸の使用を命じたほどの徹底振りで、これは亡
びゆく木材資源を節約するためであるが、新聞、雜
誌その他の刊行物も一部のものを除いて実に粗悪な
紙を使用して耐乏生活を要求している。

農村と人口問題

最近の日本の農業で目立つのは、協業化と機械化への動きであろう。

米作は田植へ、刈り入れ以外はすべて機械力を用、それで余った労力で酪農、養鶏、果樹その他総ゆる方面へ頭を働かせている。日本の農民とは、およそ対照的なのが韓国民であろう。一つの耕耘機をもたぬ韓国農民は、昔ながらの牛を相手に至極のんびりと田畑の掘り起こしを車中より望見されたが、零細な資金もなく、借金に追われ、作りつけの稲はすでに高利貸のもので、働けど働けどわが暮しは楽でないことを地दैいつているが政府は徹底的に高利貸の「せんめつ」を計っているが、農村の振興政策は今後革命政府の残された課題の一つであろうとの実感を深くした。

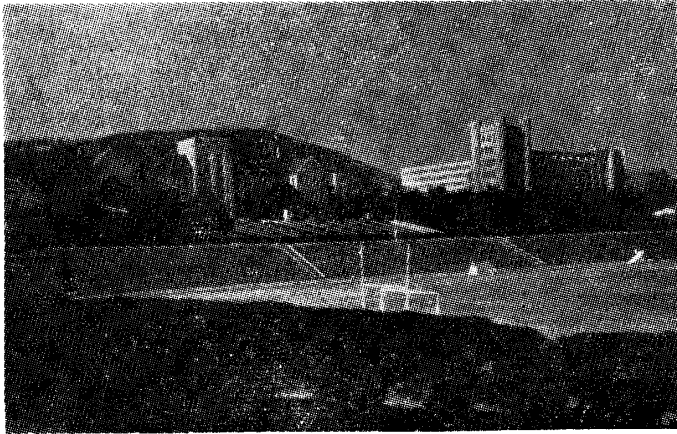
農産物は比較的安く売買され、他の諸物価のコストがべらぼうに高くは、農民の困窮も理の当然で化学肥料なんかは問題外である。特に農産地の大邱地区は本年は数年来の不作であったと新聞が報じていたのを見たが、青年が農村を捨てて都市に集中するのは無理からぬ事であろう。農民の耕地一戸五・五人、平均〇・九五町歩の政府統計を見ても如何に農村が貧困であるかが解明する。べつ見するに貧富の差が都市も農村も甚だ極端なことが特に筆者の眼についた。韓国の人口二千五百万人、年々の自然増加が七〇万人、大邱市の人口も最近ふくれ上つて七〇万人であるが、毎年大邱市が一つづつ殖える勘定であると、大邱のインテリ階級が語っていた。人口の増加はまことに結構であるが、その裏づけがなければ却って生活が苦しくなることは理の当然、それかあらぬか産児制限を政府が実施に踏みきり、避妊薬を提供、家族計画を樹立させている。政府統計による失業者は五〇万〜六〇万だとの話したが、潜在

失業者は二五〇万〜三〇〇万に至っては政府も頭をいたい事だと思われる。

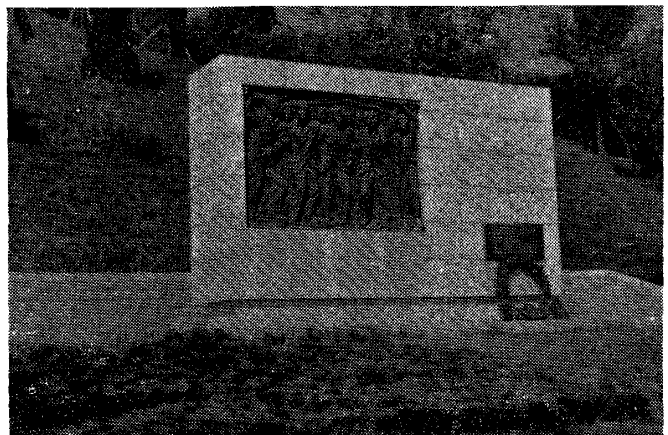
教育と就職難

韓国の学制は日本のそれと全く同じと言って差支えなからう。三六年間の伝統をその儘引きつぎ、呼称が小学校を国民学校、総合大学を大学校、単科大学を〇〇大学と呼称している。独立後五年間共産軍と戦い激しい苦しい戦争をした関係で多くの有能人を失い、総ゆる方面で人材なく、若くして榮進したものが多いため、勢い質の低下は教育界にも波及しこれが悩みの種らしい。

ソウル市のみでも大学数三五、高中八一、女子中学四六の多きを数え、数多い大学、教育の普及、教



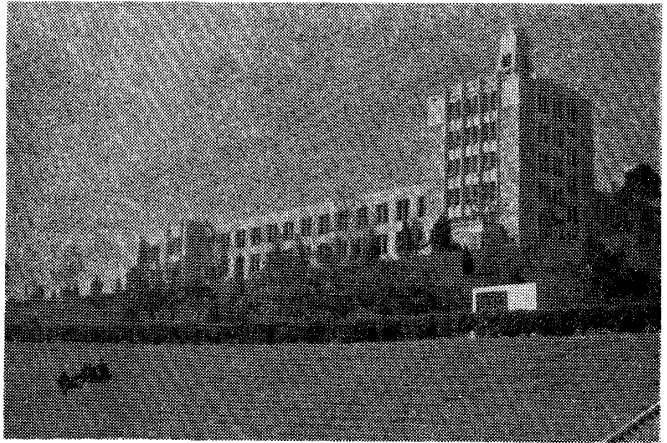
高麗大 学校
西南部のキャンパスから運動場を通じて本館
および図書館の遠望、79万坪の敷地



李承晩大統領排撃デモで五人の犠牲者を出した高麗大 学校の本館前の記念の招魂碑

育の向上が就職難の悲劇をかもし出している。大学生は全国で約一二万名、毎年三万名近くの卒業生を出す、これを放置すると社会問題に迄発展するので、これを総数五万名に減じ、しかも教授数を現在の二倍に増員し、理科七、文科三の比率に修正する案をもっているが余程の英断をもってやらないと実施困難だろう。

(注) ソウル一八日発U・Pによると、革命政府は一月一八日全面的学生改革の一環として、四年制私立大学(単科及総合)二七校内一三校を来春の新学期以降閉鎖すると、新規制を發表した。これは「韓国は経済力や社会機構の割合からみて、大学が多すぎ、その結果大学出身者の失業者があふれ、韓国の将来に暗影を投げかけている」と文部当局はのべているが、革命政府は既に大学生数の削減、大学新入生、卒業生に対する国家試験、六〇才以上の教授、高、中、小教員や公務員の引退、学生ストやデモ禁止などの措置をとっており、中学より高校へ、高



高麗大 学校 (79万坪)

校より大学への関門も、名門校へ進学を志すため、必然的に無理な受験勉強に追われ、加えて、入試には体力検査も実施されているから、若い学徒は腹背に強圧をうけ、死にもぐるに勉強に体育に精励している模様を見聞した筆者は只嘸然とするのみで、対談者と日本の往年の戦時中のことに話が移行し、懐旧談に花をさかしたものであった。

大学の設備

韓国に於ける六試合の前日は必らず、相手校のチームが自校に我々を招待してパーティーを聞いてくれたので、勢い各大学の内部を見学する機会を得た。いづれも規模広大全く羨しき限りであった。

慶熙大学(ソウル市)は独立後開学された大学で敷地三〇万坪、文理科、法科、政経、体育の四学部設備は到れり尽せり四〇〇米のトラック、ロスの

屋外音楽堂をその儘移したような立派な設備、また体育科女子学生のための、音楽練習室は実に一〇〇部屋に夫々ピアノ一台づゝ備え、千人の寄宿舎、完備せる図書館や、体育館、大理石の本館、アメリカの大学を見ているような気がした位だった。

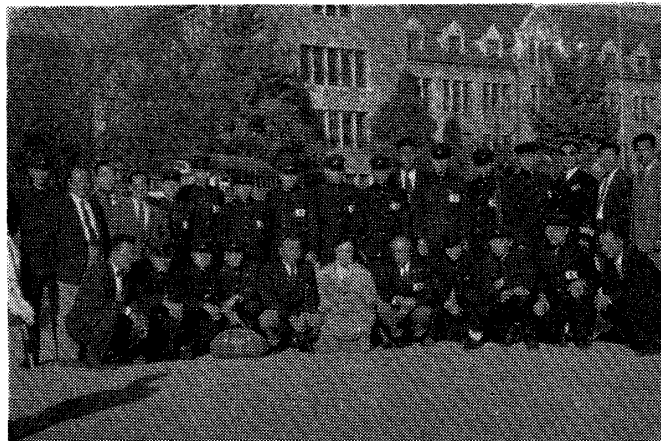
延世大学 敷地五〇万坪、学生数男子四・五〇〇名、女子六〇〇名、創立後七九年、延喜寺門学校とセブラン医専の併合大学で、図書館は一六万冊の蔵書と五〇〇席の閲覧室、四〇〇米のトラックと二万を収容する観覧席をもつ大運動場とソウル市随一の大体育館でバスケットボールやバレーボールの国際試合はこの体育館で行われるとか、東京国際基督教大学の本年度卒業生川島君留学生として政治学専攻中。
高麗大学 学生数七、〇〇〇人、敷地七九万坪、図書館四階建総御影石作り、蔵書二〇万冊、立派な博物館あり、四〇〇米のトラック、観覧席二万五千を有し、総長はハーバード大学卒、副総長三高、京大出身等。

梨花大学 本年創立七五周年記念式典を挙行了した韓国女子の最古の大学で、文理大、芸術大、医大、師大、法政大、薬学大、美術大の七学部、学生総数八〇〇〇名、総長全活蘭博士、座席四〇〇〇を有する韓国有数の大講堂は、映画、演劇、舞踊、音楽会等多彩な催し物を行い、ソウル特別市の西北、二つの丘にはさまれた広ぼう一二万坪の遙かに漢江を見下ろす景勝の地にある。

梨花大学生の日本留学

梨花女子大学の柳明子選手は、ローマオリンピック体操競技韓国唯一人の出場者であるが、次回の東京大会は再度出場のため、指導者のない韓国よりも

日本留学を希望し、来春三月には来日、日体大に入学の手続きをとる大の親日家で総長の推せん者でもある。



梨花大 学校 総長金活蘭博士を中心に記念撮影

指導的地位の人の話

われわれが滞韓中にジャーナリストや指導的な地位にある人の見せた日本に対する関心のほどはなみなみならぬものがあつたが、たれにも増して若い学生達は日本に対するあこがれは異常なものがあつた。

韓国は一九四五年米軍によって、日本の支配から解放されたが、それ以来一六年間に経験したことは、共産軍の恐怖と、李承晩の失政と腐敗の一二年間、それにつゞく張勉前首相の施政から生じた混乱を救うためにも、国家と二五〇〇万人の国民を貧困から

救うためにも、五、一六事件、即ちミリタリー、レボリューションもやむを得なかつた事情を度々聞かされた。その革命で突如登場した若い韓国軍部政權の指導者、正式には韓国国家再建最高會議議長朴正熙氏であるが、彼は日本統治下の南鮮に育ち戦時中日本の陸軍士官学校に学び、後に米国のウェスト・ポイント陸軍士官学校にも学んだピューリタンといわれる程の潔癖家であり、謙虚であり、誠実である反面に仲々シンの強い、物事を地道に着々と処理して行く実行力のある指導者で国内の社会改革、經濟安定化、反共態勢の強化を強力に推進しているが吾々は絶対に彼を支持しているんだ、彼は混乱の韓国の現状を救う唯一の指導者である。日本は共產主義に対する考えは余りにも甘すぎる。たまたま日本の雑誌を読む機会があるが、その内容に左傾思想が見うけられ、これが日本の知識人の思想かと吾々は危惧の念にかられる、東洋の平和のためにも、世界の平和のためにも、両国民が手をつないでやりたいものであると聞かされた。

最後に朴氏が九月六日、日本の特派員の質問状に回答した項の中で、特に日本国民に対し次のような点を強調して述べている。

「韓日両国は、歴史的にも、地理的にも、最も密接な関係におかれており、共通の幾多の利害点をもっているにもかかわらず、相互不和状態が永い間続いている事は、両国民だけでなく、アジアにとつても、又世界にとつても大きな不幸の一つである。吾々はお互に相手を尊敬し、信頼して互譲と妥協の精神で外交の正常化を計らねばならない。」

日本青少年の将来を想う

僅か旬日の滞韓日程であつたが数々の想い出と、

貴重な見聞を得て帰つた事は大きな収穫であつた。韓国の国民が粗衣粗食、耐乏生活に何一つ不満を言わず、国策に従つてぜい沢品を追放

「一例」 国民服着用、女学生は日本往年のモンペ姿や、外国煙草（年間六十億円）コーヒー、紅茶（年間五十億円）外国化粧品使用禁止等々であるが、一步羽田に帰つて見ると、ネオンの輝き、華美な服装、外国製品のはん乱、関西地区のみで外国煙草の消費が前半期で既に四〇億円をオーバーしたと紙上発表があり、盛り場、デパートは、人ごみで、ごつたかえし、何不自由のない生活振りを見て、海一つ距たつた韓国との差異が余りにも甚だしいのを見て、日本の消費生活は果してこれだよいのであろうか。

ソウルの成均館大学（儒教主義教育）の総長趙超広河氏は岡山の六高、東北大学卒、阪大で理学博士の学位を得た人だが、非常に日本をなつかしい思い出記憶をもつ人、又大韓水上競技連盟、会長趙瑛河氏（日体大卒）や、慶熙大学校総長、趙永植博士（日体大卒）等数多くの人があつた。

革命以前は政府要人の子弟は総て海外に留学し、徴兵をのがれ生命を保全し、一般国民の子弟は例外なく、軍務に服し、戦死者、死亡者が多かつた。この事が学生、労働者のけつ起でデモを敢行、李承晩政府を倒した一つの因子にもなつたようだ。次の世代になれば、これ等欧米諸外国に学んだ、日本語の話せない、日本の理解の少ないインテリが多くなることは、何んと云つても淋しい思いがする。

今の日本の年配の人には「朝鮮人」という軽蔑した気持ちがあるが、筆者の語り合つた人々は、南北戦争（朝鮮事変）の時の北鮮軍の大虐殺を今も尚深く意識の内に秘め、早く日韓提携の時機をまつている。

昭和三七年から始まる韓国經濟再建五カ年計画に日本も参加する一方、池田、朴会談の早期解決を望んでいることは確かだ。

日本の小、中、高が一週三時間の保健体育の授業だが、韓国においては、国民学校（日本の小学校）中、高、大学を通じ、週六時間実施しているが、今でさえ、日本の青少年より強い体力とスタミナをもつ、韓国青少年が前記のような、革命政權の方針を榮養その他を科学的基礎に立脚した指導を継続すれば、この数年を出でずして、彼等の差異は、体力は勿論のこと、他の精神面においても、余りにも大きな差異が出来てくるのではなからうか。日本の青少年諸君よ「吹けば飛ぶような青い、細長い身体より頑健な身体作りをやるうではないか」と声を大にしたい。想い出はつきぬ、ソウル特有の雲一つない紺碧の空、数万の觀衆の拍手に迎えられて行われた入場式の情景を思ひながら、はるか隣邦青年の御多幸を祈つて筆を擱く。

附記

◇ソウル市 日曜日朝◇

教会の鐘が鳴り、市内各所の教会には超満員の人をさばききれず数度に亘り、日曜礼拝がとり行われていた。老人がバイブル片手に子供達と共に。

◇日本語塾◇

李承晩時代には絶対に日本語を使わなかつた。日本語も現在は日本語の結果塾は大繁昌とか、但し国際語は英語で、日本語は三十二、三才以上の人でないと話せないが日本の流行歌はラジオを録音してコッソリ。

◇ソウル市の吾々の宿舎◇

錦繡荘の近くに朴正熙氏の住居がある。質素な生活、近隣の評判は上の上であつた。（67頁につづく）